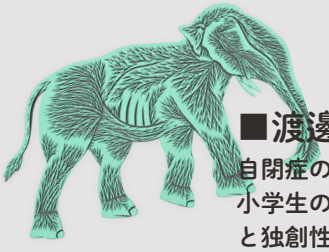
昨年度開催された「ながさきピース文化祭 全国障がい者作品展」において、多くの感動と称賛の声が寄せられた作家・渡邊義紘氏を再びお迎えします。切り絵や折り葉をはじめとする多彩な技法による作品や表現活動を、長崎の皆様に直接ご覧いただく機会を創出します。また、渡邊氏の成長の軌跡やアーティストとしての歩みを支えてきたご家族の経験について、母親の渡邊仁子氏にご講話いただきます。

さらに、渡邊氏とも交流のあるPICFAの原田氏をお迎えし、障がい者芸術文化活動の実践や可能性についてご講演いただきますとともに、クロストークのコーディネーターとしてご登壇いただきます。

本企画を通して、長崎県内のアート支援に関わる方や保護者の皆様と学びや気づきを共有することを目的として開催いたします。

◆当日プログラム◆

13:00　開会
13:05～13:55　原田氏講演
14:00～14:20　渡邊氏講話
14:25～15:05　クロストーク
15:10　閉会
15:10～16:00　公開制作自由鑑賞



■渡邊義紘氏

自閉症の造形作家。
小学生の頃から切り絵を始め、豊かな感性と独創性によって独自の表現世界を築いてきた。動物や生き物をモチーフに、ハサミで一筆書きのように細やかな切れ込みを施し、すべてがつながった一枚の作品として完成させる「切り絵」と、クヌギの葉を繊細に折り込み立体作品へと仕上げる「折り葉」という二つの独自技法を持つ。その作品は国内外で高い評価を受け、多くの展覧会で紹介されるとともに、海外の美術館にも収蔵されている。



■渡邊仁子氏

義紘氏の母であり、全国の展覧会における受付対応や作品管理など、義紘氏の活動を幅広くマネジメントしている。幼い頃からさまざまな経験をともに重ね、現在に至るまで最も身近な立場で活動を支え続けてきた。



■医療法人清明会障害福祉サービス事業所　ＰＩＣＦＡ（ピクファ）

PICFAは2017年7月、佐賀県基山町の医療法人清明会きやま鹿毛医院内に開設された就労継続支援B型事業所です。絵画やデザイン、ライブペイント、壁画制作、ワークショップなどの創作活動を通じ、障がいのある人の個性や表現を社会に発信。アートを仕事として捉え、一人ひとりの表現を価値へと変えながら、人と社会をつなぐ新しい福祉の形を実践している。







■原田啓之氏

兄に知的障害がある家庭で育ち、「福祉とは何か」「幸せとは何か」を幼いころから考え続けてきた。日本福祉大学卒業後、障がいのある人の音楽・アート活動の現場に長年携わる。
2017年、医療機関内に就労支援施設を設けるという全国初の試みに取り組み、「PICFA」を立ち上げる。福祉・医療・アートを融合させ、社会の価値観に新たな変化を生み出す実践を続けている。



創作支援セミナー　FAX申込書　FAX番号：0957-47-5033

参加者氏名		受講方法	① 現地会場 ② 録画配信
所属事業所・団体		電話番号	
住 所			
メールアドレス			

※上記のメールアドレスにご確認のメールを差し上げます。メールが届かない場合は恐れ入りますがご連絡をお願いいたします。
※記載いただいた個人情報は当事業に関することのみに使用します。また、取得した個人情報は厳正に管理します。